

CASBEE京都-新築(2011年版)
京都看護大学(仮称)新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE京都-新築(2011年)
 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.4
Q1 室内環境								2.8
1 音環境								2.6
1.1 騒音								
	1	室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	
	2	設備騒音対策		3.0	1.00	1.0	-	
1.2 遮音								
	1	開口部遮音性能		2.2	0.40	-	-	
	2	界壁遮音性能		3.0	0.30	1.0	-	
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.30	1.0	-	
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)		1.0	0.20	1.0	-	
1.3 吸音								
				3.0	0.20	1.0	-	
2 温熱環境								2.4
2.1 室温制御								
	1	室温		2.4	0.35	-	-	
	2	負荷変動・追従制御性		3.0	0.50	-	-	
	3	外皮性能		3.0	0.60	1.0	-	
	4	ゾーン別制御性		3.0	0.40	1.0	-	
	5	温度・湿度制御		3.0	-	-	-	
	6	個別制御		-	-	-	-	
	7	時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
	8	監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御								
				3.0	0.20	1.0	-	
2.3 空調方式								
				1.0	0.30	1.0	-	
3 光・視環境								2.6
3.1 屋光利用								
	1	屋光率	●自然 A(全国版準用)	2.6	0.25	-	-	
	2	方位別開口		1.8	0.30	-	-	
	3	屋光利用設備	●自然 B(推奨内容)	1.0	0.60	1.0	-	
3.2 グレア対策								
	1	照明器具のグレア		-	-	1.0	-	
	2	屋光制御	●自然 B(推奨内容)	3.0	0.40	3.0	-	
	3	映り込み対策		3.0	0.30	-	-	
3.3 照度								
				3.0	0.15	1.0	-	
3.4 照明制御								
				3.0	0.25	1.0	-	
4 空気環境								3.7
4.1 発生源対策								
	1	化学汚染物質		3.7	0.25	-	-	
	2	アスベスト対策		4.0	0.50	-	-	
	3	ダニ・カビ等		4.0	1.00	3.0	-	
	4	レンジホネ対策		-	-	-	-	
4.2 換気								
	1	換気量		3.0	0.30	-	-	
	2	自然換気性能	●自然 A(全国版準用)	3.0	0.33	3.0	-	
	3	取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	1.0	-	
	4	給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理								
	1	CO ₂ の監視		4.0	0.20	-	-	
	2	喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
			館内禁煙	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能								2.5
1 機能性								2.1
1.1 機能性・使いやすさ								
	1	広さ・収納性		2.1	0.40	-	-	
	2	高度情報通信設備対応		3.0	0.40	-	-	
	3	バリアフリー計画	●大切 D(独自基準)	3.0	-	3.0	-	
1.2 心理性・快適性								
	1	広さ感・景観	●とも C(独自加点)	3.0	1.00	-	-	
	2	リフレッシュスペース		1.0	0.30	-	-	
	3	内装計画	●とも D(独自基準)	1.0	0.50	3.0	-	
1.3 維持管理								
	1	維持管理に配慮した設計		1.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保		2.0	0.30	-	-	
				2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性								2.8
2.1 耐震・免震								
	1	耐震性		2.8	0.31	-	-	
	2	免震・制振性能		3.0	0.48	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数								
	1	躯体材料の耐用年数	●大切 A(全国版準用)	3.0	0.80	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.2	0.33	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		4.0	0.23	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
			外壁にタイルを使用	3.0	0.08	-	-	
				3.0	0.15	-	-	
				3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性					1.8	0.19	-	-	
1	空調・換気設備				1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				1.0	0.20	-	-	
3	電気設備				1.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.0	0.29	-	-	3.0
3.1 空間のゆとり					3.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり				3.0	0.60	1.0	-	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.40	1.0	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	2.0	-	
3.3 設備の更新性					3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース				3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	1.8
1	生物環境の保全と創出	●とも	A'(全国版準用)		1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	○	C(独自加点) D(独自基準)		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮				1.0	0.30	-	-	1.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	●とも ●自然	A'(全国版準用)		1.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	●とも	A(全国版準用)		1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.2
1 建物の熱負荷抑制					3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用					2.5	0.20	-	-	2.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	●自然	A(全国版準用)		2.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化					4.3	0.30	-	-	4.3
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				ERR=21.3%	4.0		-	-	
集合住宅の評価					4.0		-	-	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水				3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.9	0.63	-	-	2.9
2.1	材料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	ひのきを使用	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					2.7	0.22	-	-	2.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避				2.6	0.68	-	-	
1	消火剤				2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33	-	-	
3	冷媒				3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮					3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮					1.7	0.33	-	-	1.7
2.1	大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	●とも	A(全国版準用)		1.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制				1.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					2.8	0.33	-	-	2.8
3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音				3.0	0.33	-	-	
2	振動				3.0	0.33	-	-	
3	悪臭				3.0	0.33	-	-	
3.2	風害、日照障害の抑制				2.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制				3.0	0.60	-	-	
2	砂塵の抑制				1.0	0.20	-	-	
3	日照障害の抑制				3.0	0.20	-	-	
3.3	光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●大切	B(推奨内容)		3.0	0.30	-	-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる